

令和6年度 ワカメ養殖情報第1号 (令和6年10月30日)

- ・ 漁業指導調査船岩手丸が実施した10月(10月3日~10月7日実施)の海洋観測結果によると、0海里での栄養塩濃度は1.4 ~ 2.6 $\mu\text{g/L}$ と例年同様に低い状態でした(図1)。また、当所で定点観測している、船越湾吉里吉里漁場の栄養塩濃度(10月22日)も4.9 $\mu\text{g/L}$ と低位でした。
- ・ 岩手丸の観測データと栄養塩濃度の実測値から50日先までの栄養塩濃度(0海里表面)が20 $\mu\text{g/L}$ ※を超える確率を予測し、11月の確率を求めたところ(図2)黒埼 7 ~ 96%、トドヶ埼 14 ~ 79%、尾埼 14 ~ 83%、椿島 4 ~ 57% となりました。海表面で栄養塩濃度が20 $\mu\text{g/L}$ ※を超えるのは11月下旬以降と、例年よりも遅めとなる予想です。(※ ワカメ種苗の巻き込み時に必要とされる栄養塩濃度)
- ・ 海表面の水温は低下してきていますが、地先の栄養塩濃度の測定結果を見ながら芽落ちしないよう、種糸の管理には細心の注意を払ってください。

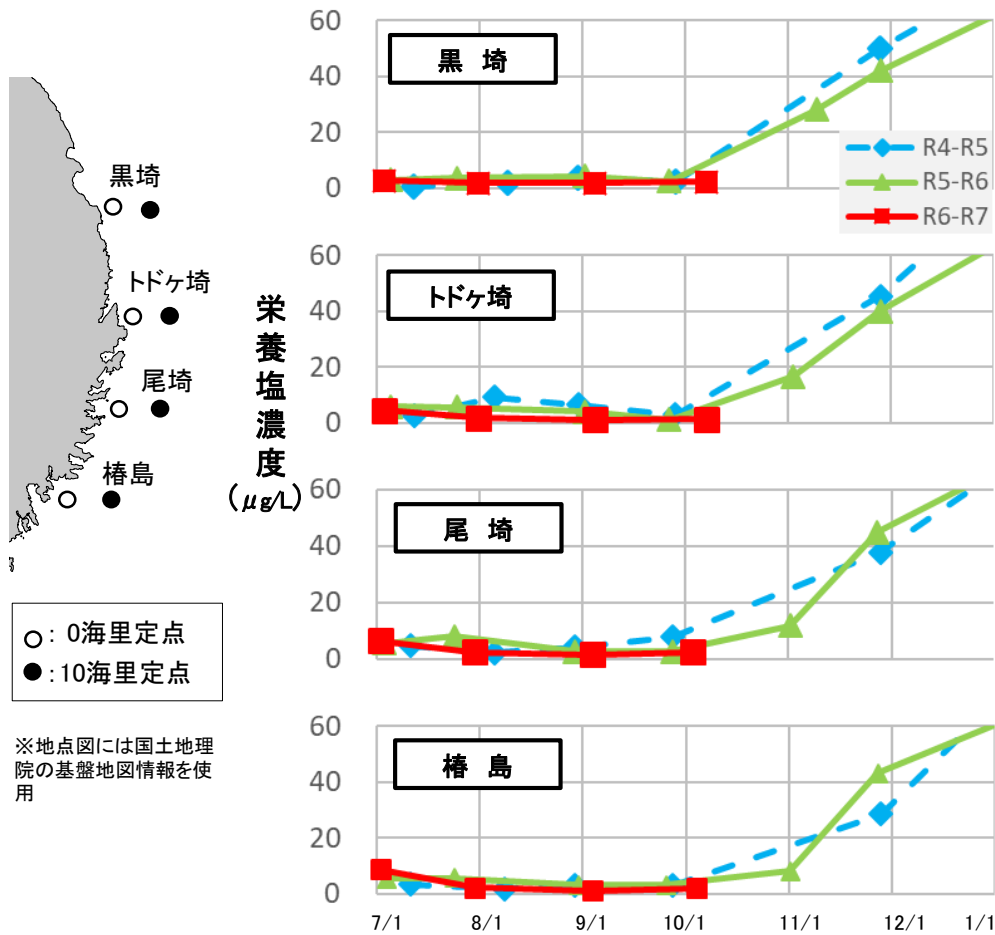


図1 0海里での栄養塩濃度の推移

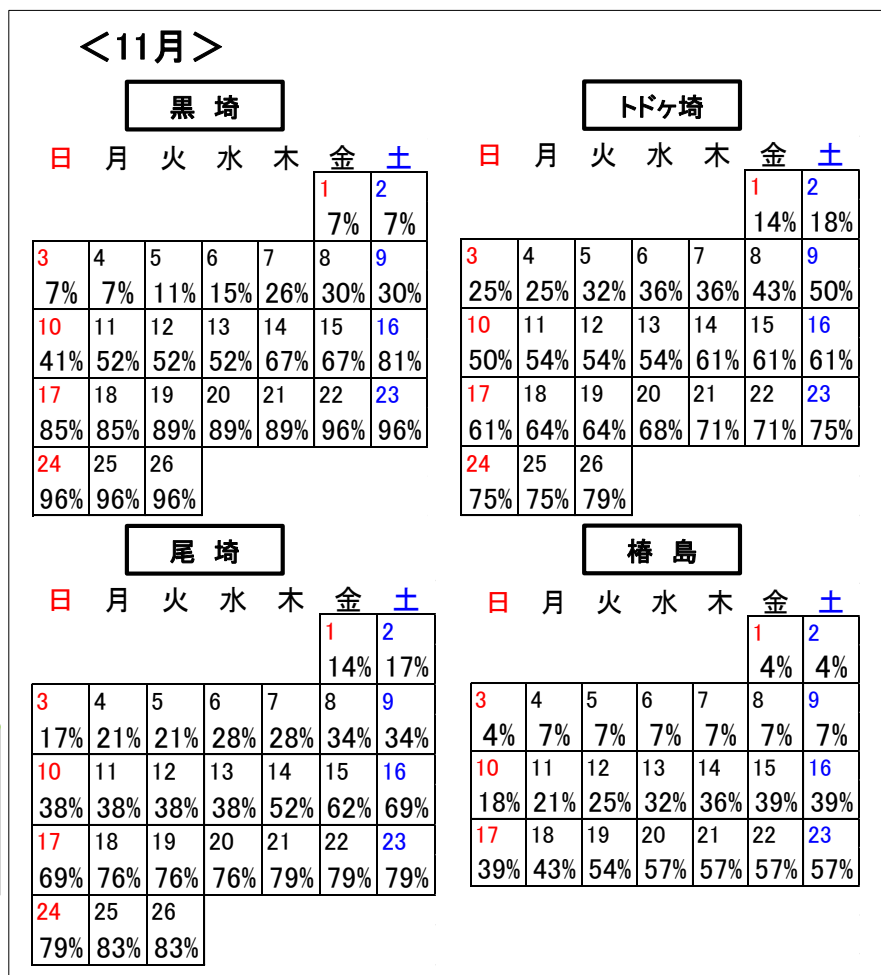


図2 栄養塩が20 $\mu\text{g/L}$ 以上となる確率(予測結果)



発行：岩手県水産技術センター増養殖部
TEL：0193-26-7917
←ワカメ養殖情報

※栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。
※本予測は、栄養塩を分析してから50日先まで可能です。